

想像してみてください。。

この島に、”感染者”が発生した時のことを

その人が、職場、知人、友人、飲み仲間だったとき

あなたは、どのような行動をとりますか？

まず、多くの方が「自分も感染していないか」と思うでしょう。

その次に、あなたはどのような行動・言動をとりますか？

”感染者”を誹謗中傷・陰口・差別しますか？しませんか？

”感染者”への誹謗中傷・陰口・差別を、とめる行動をとりますか？

ウイルスの恐怖や不安と闘いながら、

余裕ある行動をとることはとても難しいことだと思います。

そんな今だからこそ、

職場、家族、知人、友人と話し合ってください、

人の意見、考え方を共有し、気持ちを理解し、尊重してください。

この島が、”感染者”に対し

「あ～なおってよかったなあ、元気になってあんきしたわ」

と言える、やさしい島になることをともにめざしましょう。

負けるな、人間 まもろう、人権

～ コロナとたたかう、強き人たちへ ～

人権相談窓口

○人権啓発推進センター相談窓口

電話：(松江)0852-22-7701(平日午前8時30分～午後5時15分まで)

○みんなの人権110番(全国共通人権ダイヤル)

電話：0570-003-110(平日午前8時30分～午後5時15分まで)

○子どもの人権110番

電話：0120-007-110(平日午前8時30分～午後5時15分まで)

○女性の人権ホットライン

電話：0570-070-810(平日午前8時30分～午後5時15分まで)

○外国語人権相談ダイヤル(外部サイト)

電話：0570-090-911(平日午前9時00分～午後5時00分まで)

発行元： 隠岐の島町、隠岐の島町人権・同和教育推進会議
問い合わせ先： 隠岐の島町地域振興課、隠岐の島町教育委員会社会教育課
TEL： 08512-2-2126

COVID19
STOP
コロナ差別

コロナに負けない 人間の強さは、おもいやりと支えあい

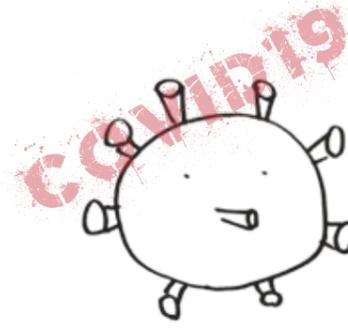
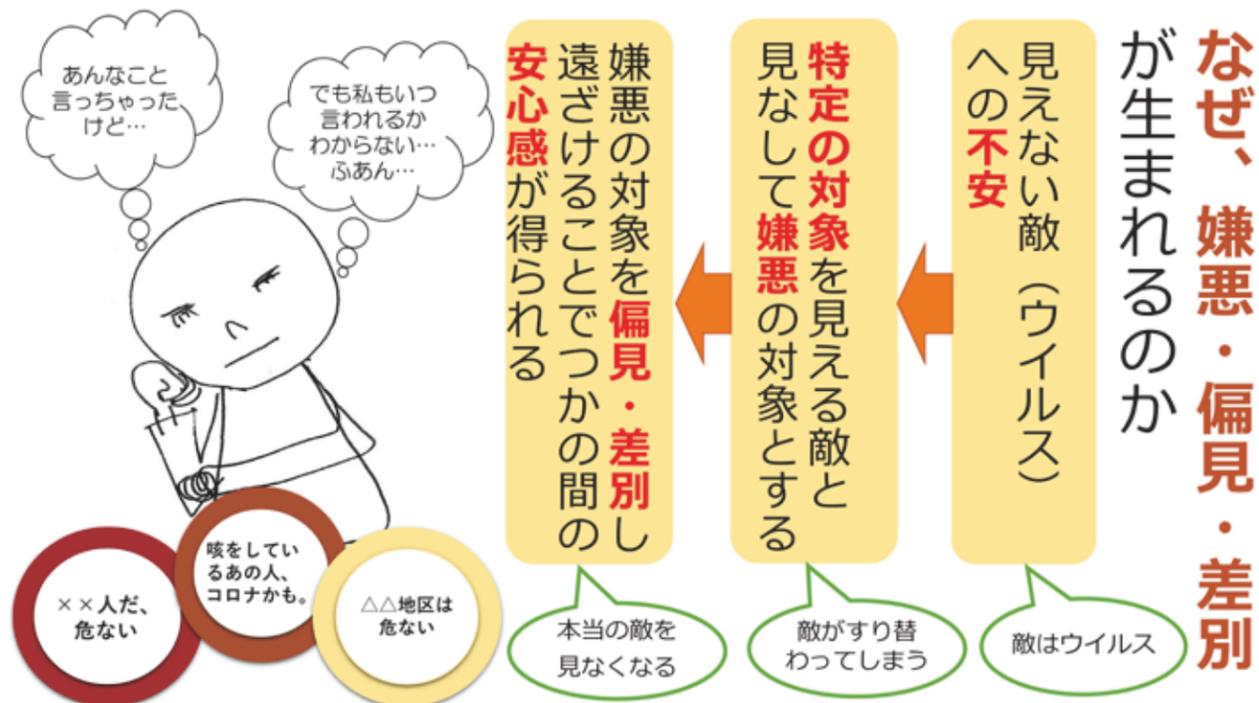
この”感染症”の怖さは、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別が更なる病気の拡散につながるのです。

恐れるべきはウイルス。人ではない

新型コロナウイルス感染症は、誰もが感染する、あるいは感染させてしまう可能性のある感染症です。

感染した方々やその家族、勤務先の方々、医療従事者、福祉関係者、物流を支える仕事に従事している方々、帰国、帰郷・来訪されている方々等、いかなる人に対しても、不当な偏見や差別、いじめ、プライバシー侵害、SNSでの誹謗中傷等の人権侵害は許されません。

不確かな情報に惑わされて人権侵害につながるのないように、正しい情報に基づいた冷静な行動をお願いします。



第1の“感染症”
「病気」

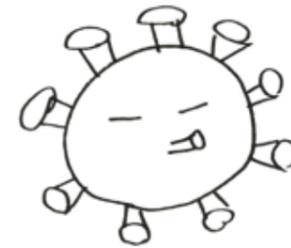
未知なウイルスでわからないことが多いため**不安が生まれる**



第1の“感染症”を
ふせぐために

1人1人が衛生行動を徹底しましょう。

「手洗い」
「咳エチケット」
「人混みを避ける」
など、
ウイルスに立ち向かうための行動を、
自分のためだけでなく周りの人のため
にもすることが大切です。



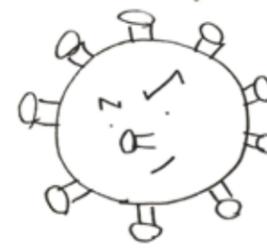
第2の“感染症”
「不安」

人間の生き延びようとする本能によりウイルス感染にかかわる**人を遠ざける**



第2の“感染症”に
ふりまわされないために

不安や恐れは私たちの
気づく力
聴く力
自分を支える力
を弱めます。
不安や恐れは身を守る為に必要な感情ですが、私たちから力を奪い、冷静な対応ができなくなることもあります。



第3の“感染症”
「差別」

差別を受けるのが怖くて熱や咳があっても受診をためらい、**病気の拡散を招く**



第3の“感染症”を
ふせぐために

不安を煽ることは病気に対する偏見や差別を強めます。
「確かな情報」を拡めましょう。
・差別的な言動に同調しないように
しましょう。